

第16回 なが やす ぐち 長安口ダム改造事業費等監理委員会について



第16回長安口ダム改造事業費等監理委員会

日時：令和5年12月15日（金） 10：00～12：00

議事内容

- (1) 長安口ダム改造事業について
- (2) 令和4年度・令和5年度の実施概要
- (3) ダムの運用実績と改造事業の効果
- (4) 長期的堆砂対策 事業方針（案）
- (5) 第15回委員会での主な意見に対する取り組み

委員構成

(元)徳島文理大学 総合政策学部 学部長
中村 昌宏

徳島県 県土整備部長

松野 秀生

徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授

田村 隆雄

徳島大学理工学部学部長

武藤 裕則



今後の事業費等監理委員会予定

第16回でいただいた意見に対応する。

特に、長期的堆砂対策に関しては、事業費及び工期の精査を進めるにあたり、物価変動や働き方改革の影響を踏まえるとともに、新技術やICTの活用など、コスト縮減・工期短縮に努め、令和6年度の事業費等監理委員会で長期的堆砂対策の方向性を示す。

事業費等監理委員会については、長期的堆砂対策の事業工程・事業費監理について、引き続き指導・助言を頂くため、来年度以降も継続して開催していく。

第16回委員会における主な意見

1. 事業目的3つのうち、洪水調節機能と環境保全対策については、これまでのところ効果が発揮できていると認められる。
今後、操作規則を変更するにあたっては、下流への影響を十分に考慮した上で、住民への周知を行うこと。
2. 広報については、引き続き幅広い世代にわかりやすい説明に努めると共に、地元へのさらなるアピールを含めて積極的に取り組むこと。
3. 長期的堆砂対策については、
 - (1)近年の堆砂実績を踏まえ、見直した流入土砂量をもとに、土砂運搬施設の配置等を見直した結果、一部区間の土砂運搬方法をベルコンからダンプ運搬に変更し施設規模を縮小できる可能性がある。
 - (2)今後は、ベルコン・ダンプ運搬併用案について、調査・設計を進めるとともに、物価変動や働き方改革の影響、調査進捗に伴う変動などを考慮した事業費及び工期の精査を進めること。
 - (3)事業費及び工期の精査については、コスト縮減、工期短縮はもとより、配置計画が及ぼす地域への影響、計画流入土砂量の上振れの影響等について総合的に評価し、長期的堆砂対策の方向性について、令和6年度の事業費等監理委員会で提示すること。